

令和4年度 新・宮城の将来ビジョン推進事業及び復興・サポート事業一覧

【凡例】

- ☆ : 令和4年度 特に注力する事業
- <新・宮城の将来ビジョン実施計画>
- ◎ : 新・宮城の将来ビジョン推進事業
- [復サ] : 復興・サポート事業

基本方向 1 豊かな人間性と社会性の育成

- ① 生きる力を育む「志教育」の推進【重点的取組 1】
- ② 思いやりがあり感性豊かな子供の育成【重点的取組 2】
- ③ いじめ・不登校等への対応, 心のケアの充実【重点的取組 3】

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
☆ ◎	志教育支援事業	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 <令和4年度の主な取組> ・推進地区の指定及び推進会議の開催 ・「みやぎの先人集『未来への架け橋』」指導資料の活用促進 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・教職員の人権教育指導者研修会の開催				4,090	義務教育課
◎	高等学校「志教育」推進事業	高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。 <令和4年度の主な取組> ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 みやぎ高校生マナーアップ運動の実施（春・秋） みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催				2,071	高校教育課
◎	進路達成支援事業	高校生に対して自らが社会でどのような役割を果たすべきかを考えさせ、志を持って高校生活を送ることができるよう支援する。模擬面接等により内定率の持続や定着率の向上を目指す。 <令和4年度の主な取組> ・進路達成セミナーの開催 ・「しごと応援カード」の作成と配布 ・企業説明会、就職面接会の実施				2,929	高校教育課
◎	人と自然の交流事業	自然環境に恵まれた県立自然の家の社会教育施設を活用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解の動機付けを図るとともに、一人一人が置かれている日々の生活の中で自ら意識を改革し、より良く行動する人材の育成を図る。 <令和4年度の主な取組> ・県立自然の家での自然体験プログラム（学習体験）の実施				2,444	生涯学習課
◎	魅力ある学校づくり推進事業	授業づくりや集団づくりによる新たな不登校等を生まない魅力ある学校づくりの調査研究を行い、その研究手法を域内に普及・啓発する。 <令和4年度の主な取組> ・1中学校区を指定 ・アンケートを基にした年3回のPDCAサイクルによる調査研究を実施 ・「小・中連絡協議会」「魅力ある学校づくり調査研究委員会」の開催				870	義務教育課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
◎ [復サ]	教育相談充実事業	震災等により精神的苦痛を受けた児童生徒が、早期に正常な学習活動に戻れるようにするため、スクールカウンセラーの配置・派遣などを通して、一人一人へのきめ細かい心のケアを行うとともに、学校生活の中で心の安定が図られるよう、相談・支援体制の一層の整備を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・県内中学校へのスクールカウンセラーの配置と小学校への派遣 ・学校や市町村教育委員会の要望に応じたスクールカウンセラーの配置・派遣 ・各教育事務所等への専門カウンセラーの配置 ・不登校児童生徒を支援する施設への支援員やボランティアの派遣				484,530	義務教育課
◎ [復サ]	高等学校スクールカウンセラー活用事業	全県立高校にスクールカウンセラーを配置することにより、多様化・複雑化した生徒・保護者・教員の相談に対応するとともに、地域の関係機関や家庭と連携した指導の充実を図るため、学校の要望に応じ、スクールソーシャルワーカーを配置・派遣する。また、スーパーバイザー等を活用した連絡会議を開催し、震災後の心のケアに関する教職員の資質向上に資するとともに、校内の教育相談体制の強化を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・スクールカウンセラーの配置（全県立高校） ・スクールソーシャルワーカーの配置（希望する県立高校） ・スーパーバイザーの配置 ・スクールカウンセラー連絡会議の開催 ・スクールソーシャルワーカー連絡会議の開催				105,597	高校教育課
◎	総合教育相談事業	心の問題に関する高度な専門的知識・経験を有する精神科医や臨床心理士が、いじめ、不登校、非行等について、面接又は電話等による教育相談を行う。また、特に震災による心の傷が癒えず様々な環境の変化に適応できない児童生徒に対応して心のケアを進めるよう、相談体制を強化する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・不登校・発達支援相談室の設置 ・24時間子供SOSダイヤルの設置 ・SNSを活用した相談の実施				37,413	高校教育課
☆ ◎ [復サ]	いじめ対策・不登校支援等推進事業	児童生徒自身が抱える問題や児童生徒を取り巻く震災等による環境（家庭、養育環境、友人関係等）の変化等、多様な要因により生じるいじめ対策や不登校支援のために、スクールソーシャルワーカーや支援員等の配置・派遣、心のケア・いじめ対策・不登校支援等支援チームや児童生徒の心のサポート班の運営により、児童生徒や家庭、学校へ多様な支援を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・不登校支援ネットワーク推進協議会の設置 ・スクールソーシャルワーカー活用事業（市町村委託）の実施 ・いじめ防止動画コンクールの実施 ・児童生徒の心のサポート班による学校等への直接支援及び市町村が設置する「みやぎ子どもの心のケアハウス」との連携推進、運営支援 ・スクールロイヤーを活用した生徒指導上の諸課題の対応				329,264	義務教育課
☆ ◎	不登校等児童生徒学び支援教室充実事業 拡充	不登校や不登校傾向の児童生徒、教室で過ごすことに困難を抱える児童生徒の居場所を校内につくり、学習支援と自立支援を図る学び支援教室を設置することで、組織的に不登校等児童生徒を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・学び支援教室専任教員として、教員を加配 ・学び支援教室コーディネーターによる運営全体のコーディネート及び学び支援教室専任教員に対する助言・支援 ・児童生徒理解、不登校理解等に関する研修会の実施				26,523	義務教育課
☆ ◎ [復サ]	いじめ対策・不登校支援及び中途退学防止事業	いじめ、不登校及び中途退学に対応するため、生徒指導や自己有用感の涵養を図る学習活動の補助を行う学校生活適応支援員、学校等への生徒指導の支援を行う心のサポートアドバイザーを配置するとともに、関係機関や外部の専門家等との連携・協力のネットワークを強化し、組織的・体系的な生徒指導を進め、いじめ、不登校及び中途退学の未然防止を図るとともに、早期発見・早期解決を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・教育活動充実支援事業 ・学校生活適応支援員の配置（希望する県立高校） ・心のサポートアドバイザーの配置（県教育委員会） ・精神保健研修会の開催支援 ・ネットパトロールの実施 ・高等学校生徒指導連絡会議等の開催				94,985	高校教育課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
12 ☆ [復サ]	みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業	学校生活に困難を抱えている児童生徒への、社会的自立や学校復帰を目的として市町村が行う体制整備を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・ケアハウス運営のための補助制度 ・心のケア・いじめ対策・不登校支援等プロジェクトチーム、心のサポートアドバイザー、児童生徒の心のサポート班の巡回訪問及び助言等 ・保健福祉部と連携した研修会等の開催 ・ケアハウス情報交換会の開催 ・民間施設等関係機関との連携強化				276,000	義務教育課
13 ◎	生徒指導支援事業 【みやぎ「行きたくなる学校づくり」推進事業】	生徒指導上の課題に係る研修会等を通じて、いじめ・校内暴力等の問題行動や不登校等の悩みを抱える児童生徒に適切に対応できる教職員の資質・能力の向上を図る。また、いじめや不登校等の未然防止、早期対応の充実を目指し、課題を抱える市町村教育委員会の支援を通して、域内の学校の校内指導体制及び学校間連携等の関係機関との連携体制の構築・整備を促進し、その成果を広く周知する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・みやぎ「行きたくなる学校づくり」推進地区の指定 ・みやぎ「行きたくなる学校づくり」研修会 ・不登校児童生徒の支援に関する協議会・情報交換会の開催（民間施設についてのガイドライン策定のための協議）				862	義務教育課
14 [復サ]	学校復興支援対策教職員加配事業	被災した児童生徒に対して、手厚い指導・支援を図るため、被災地の学校を中心に、人的体制を強化し、きめ細かな指導や児童生徒の心のケアを行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・国から配当された復興加配の定数を活用し、心のケア等を行う教員を配置				771,262	教職員課 義務教育課 高校教育課
15 ◎	防災主任・安全担当主幹教諭配置事業 (再掲)	大震災の記憶を薄れることなく後世に伝える仕組みを作るとともに、自然災害に対する危機意識を高め、学校教育における防災教育等の充実を図るため、全公立学校に防災主任を配置する。また、震災にとどまらず、総合的な学校安全、いじめ対策・不登校支援推進に係る地域の学校の中心的な役割を担う安全担当主幹教諭を拠点校に配置する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・防災主任の全校配置 ・安全担当主幹教諭の拠点校配置 ・いじめ対策・不登校支援・心のケアに係る地域連携の強化 ・学校・家庭・地域社会が一体となった防災教育の推進				643,313	教職員課
16 [復サ]	心のケア研修事業（総合教育センター） 【教職員CUP事業】 (再掲)	「被災した児童生徒の心のケア」や「学校不適應への対応」等をテーマとする学校単位による研修会を実施し、児童生徒の心のケアに関する教職員の資質能力の向上を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「学校不適應への対応」をテーマとする学校単位研修会の開催 ・効率的・効果的なケース会議をするためのホワイトボードケース会議の研修会の開催				361	教職員課
	合計					2,782,514	

基本方向 2

健やかな体の育成

- ① 健康な体づくりと体力・運動能力の向上【重点的取組 4】
- ② 食育の推進
- ③ 心身の健康を育む学校保健の充実

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ◎	基本的な生活習慣 定着促進事業 (再掲)	<p>家庭・学校・地域・企業等と連携・協力し、宮城の将来を担う子供達に「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル(ルルブル)」の普及と定着促進を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <p>【ルルブル普及啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の重要性を伝えるリーフレットの制作・配布 ・ 企業等と連携した普及啓発事業 ・ みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 ・ ルルブル通信の発行・みやぎ出前講座の実施等 ・ ルルブルのウェブサイト更新 ・ SNSを活用した情報発信 <p>【ルルブル定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルルブル・エコチャレンジ事業 ・ 朝食摂取習慣化事業 				7,048	教育企画室
02 ◎	みやぎの子どもの 体力運動能力 充実プロジェク ト	<p>子供の体力・運動能力の向上に向け、児童生徒の実態に応じた向上策を検討するとともに、児童生徒の運動習慣化を図るための方策を運動・食事の両面からも検討を加え、実施する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「子どもの体力・運動能力拡充合同推進会議」の開催 ・ 子供の体力・運動能力実態把握 ・ 子供の体力・運動能力向上に関する講習会の実施 ・ 体力・運動能力調査報告書の作成 ・ Webなわ跳び広場、Webマラソン大会の開催 				1,327	保健体育安全課
03 ◎	部活動指導員配 置促進事業 (再掲)	<p>中学校及び高等学校における部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部活動指導員の配置 				38,542	保健体育安全課 義務教育課
04 ☆ ◎	体力・地域ス ポーツ力向上推 進事業	<p>体力・地域スポーツ力向上に係る、小学校、中学校、地域における課題を解決するために、大学や民間企業と連携した優れた事業提案をモデル事業として実践し、児童生徒の体力及び地域スポーツ力の向上を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村と大学や民間企業が連携して行う子供の体力・運動能力向上策 ・ ICT機器を活用した部活動指導支援 等 				5,796	保健体育安全課
05 ◎	研修研究事業 (総合教育セン ター) 【教職員CUP事業】 (再掲)	<p>教育関係職員の専門的資質能力の向上を図るため、教職員研修の一環として基本及び専門研修等を実施する。また、全国的な教育研究の動向を踏まえ、常に新しい課題や教育観に基づく先導的な教育研究に当たるとともに、学校の教育活動に直接役立つ実践的、実証的な研究に取り組む。あわせて、教職員の資質向上と指導力充実を図るため、視聴覚機器など各種研修事業推進のための教材教具の借り上げを行う。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「みやぎの教員に求められる資質能力」を踏まえ、教職経験に応じた基本研修・専門研修・総合研修・校内研修支援等の様々な研修会の開催 ・ 共同研究(5つの研究テーマによる研究) 				15,529	教職員課
	合計					68,242	

基本方向3

確かな学力の育成

- ① 基礎的・基本的な知識・技能の定着と活用する力の伸長【重点的取組5】
- ② 国際理解を育む教育の推進
- ③ ICT（情報通信技術）教育の推進
- ④ 社会形成・社会参加に関する教育（シチズンシップ教育）の推進
- ⑤ 環境教育の推進

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ◎	基本的な生活習慣 定着促進事業 (再掲)	<p>家庭・学校・地域・企業等と連携・協力し、宮城の将来を担う子供達に「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル(ルルブル)」の普及と定着促進を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <p>【ルルブル普及啓発事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣の重要性を伝えるリーフレットの制作・配布 ・ 企業等と連携した普及啓発事業 ・ みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 ・ ルルブル通信の発行・みやぎ出前講座の実施等 ・ ルルブルのウェブサイト更新 ・ SNSを活用した情報発信 <p>【ルルブル定着促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ルルブル・エコチャレンジ事業 ・ 朝食摂取習慣化事業 				7,048	教育企画室
02 [復サ]	児童生徒の学習 意識調査事業	<p>東日本大震災の影響やこれまでの意識調査の結果等を踏まえ、授業づくりなどの検証・改善を行い、学校の学びの場としての価値を高めるとともに、これらの検証・改善の状況を把握するため、児童生徒の学習意識調査を実施する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生活習慣、学習意識等児童生徒に対する調査の実施 ・ 児童生徒への関わり方、指導方法等学校に対する調査の実施 				1,650	義務教育課
03 ◎	小中学校学力向 上推進事業	<p>震災の体験を踏まえ、学ぶことの意義を再確認させながら学習習慣の形成を図るとともに、教員の教科指導力の向上を図る。また、学力向上に取り組む市町村教育委員会に対して支援を行う。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究推進校の指定による実践研究の推進、研究成果の普及 ・ 指導力に優れた教員の学校等への派遣 ・ 学力調査の活用と学力向上に向けた研修会の実施 ・ 科学の甲子園ジュニア宮城県予選会の実施 ・ 本県の課題である学力向上対策を検討するための協議会の開催 ・ 「算数チャレンジ大会(算チャレ)2022」の開催 				3,988	義務教育課 教職員課
04 ☆ ◎	学力向上マネジ メント支援事業 拡充	<p>市町村教育委員会が、学力向上を推進する体制を構築することを支援し、県内全域への水平展開を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上マネジメントアドバイザーの派遣 ・ 学力向上マネジメント推進協議会の開催 ・ 学力向上PDCAサイクルの活用 ・ AIドリルの導入 				42,445	義務教育課
05 ☆ ◎	個別最適な学び に関するモデル 事業	<p>子供たちの多様化やSociety5.0の時代の到来を踏まえ、児童生徒一人一人の能力や適性に応じた「個別最適な学び」と社会とつながる「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICTを効果的に活用した指導の在り方を探るためのモデル校を設置し、大学等と連携を図りながら実践的な研究に取り組み、その成果の普及を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実践モデル校の指定、大学との連携協定の締結 ・ 研究テーマの設定、研究計画の策定 ・ 授業参観等の視察の受入れ 				4,267	義務教育課
06 ◎	学級編制弾力化 事業	<p>学習習慣の着実な定着や問題行動等の低減を図るため、中学校の第1学年において少人数学級を導入し、きめ細かな教育活動の充実を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校の第1学年における35人以下学級編制の実施 				328,332	義務教育課 福利課 教職員課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
07 ◎	高等学校学力向上推進事業	<p>高校生の学力調査を実施して生徒の学力・学習状況を把握するとともに、要請のあった高校に指導主事を派遣し、高等学校教育の質の保証のため、生徒の学力向上及び教員の指導体制の確立を図る。また、将来宮城の医師や教師となる志を持つ生徒を対象として、講演会や特別講座等を実施し、学力や学習意欲の向上を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師を志す高校生特別講座等の実施 ・ 教師を志す高校生による大学研究室訪問の実施 ・ 基礎学力の定着に向けた指導法の研究 				27,613	高校教育課
08 ◎	地域進学重点校ネットワーク支援事業	<p>各地域の進学重点校の一層の活性化と県全体の進学達成率の向上を目指し、重点校における生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図るとともに、学校の進学指導体制の改善と教員の指導力向上を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進学指導連絡協議会の開催 ・ 科目別大学入試対策講座の実施 ・ 重点校合同学習合宿の実施 ・ 高大連携地域講座の開催 				3,126	高校教育課
09 ◎	生徒の英語力向上事業	<p>英語力の向上を図るため、「みやぎの英語教育推進計画」に基づき、グローバル人材としてこれからの時代を生き抜くための素地を形成するとともに、小・中・高の系統立てた外国語教育を実践する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みやぎの英語教育推進委員会（AIM-C）の実施 ・ 英語教育における小中連携の促進 ・ 英語能力測定テスト（英検IBA）の実施及び活用研修会の開催 ・ Miyagi English Library の研究・作成 				5,955	義務教育課
10 ☆ ◎	世界に発信する高校生育成事業	<p>ICTを活用した海外ネイティブ講師や高校生とのオンライン交流により、高校生が実際に英語を使う体験を通して、世界に自分の考えを発信できる英語力を育成する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究指定校4校の生徒500人がICTを活用し、海外にいるネイティブ講師と1対1の英語コミュニケーション実践 ・ オンラインでの海外高校生との交流活動 ・ オンライン交流活動の県内・海外のネットワークを構築 ・ 研究指定校における、発信力を伸ばすための指導法の工夫・パフォーマンステストの研究 				4,222	高校教育課
11 ☆ ◎	みやぎグローバル人材育成事業（再掲）	<p>国際的視野に立って協働的に行動しながら未来を創造し、グローバルに活躍することができる人材の育成を目指し、県立高校において国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施を推進する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークショップへの参加 ・ 教員派遣研修の実施 ・ 国際バカロレアの調査研究 				123,845	高校教育課 教職員課
12 ☆ ◎	外国人児童生徒受入拡大対応事業 新規	<p>今後更なる増加が予想される外国人児童生徒への教育環境の充実を図るため、ICTを活用した支援の充実や、学校現場における学習支援体制の充実等に取り組む。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒の支援を行うサポーターの派遣（オンラインや学校での支援） ・ 多言語翻訳アプリの導入促進 ・ オンラインでの日本語教室の開催 ・ 学校への指導助言を行うアドバイザーの派遣 ・ 日本語指導教員に向けた研修会・発表会・情報交換会の開催 				13,265	教育企画室
13 ☆ ◎	教育ICT活用促進事業 拡充	<p>県立学校のICT活用を支援するとともに、教員の活用能力の向上を図るため、「ICT支援員」を派遣する。また、私有端末の教育情報ネットワーク接続に関する検証を行う。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT支援員の配置・派遣（33校） ・ モデル校における私有端末の活用検証 				48,847	教育企画室
14 ◎	ICT教育環境整備促進事業	<p>新学習指導要領に定める情報活用能力を養うことができるよう、各教科（普通教室）で活用する生徒用タブレットPCを整備する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末賃貸借 <p>平成30年度契約分（高校11校、中学校2校） 令和元年度契約分（高校22校）</p>				22,155	高校教育課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
15 ☆ ◎	志教育支援事業 (再掲)	<p>東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進地区の指定及び推進会議の開催 ・「みやぎの先人集『未来への架け橋』」指導資料の活用促進 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・教職員の人権教育指導者研修会の開催 				4,090	義務教育課
16 ◎	高等学校学力向上推進事業 (再掲)	<p>高校生の学力調査を実施して生徒の学力・学習状況を把握するとともに、要請のあった高校に指導主事を派遣し、高等学校教育の質の保証のため、生徒の学力向上及び教員の指導体制の確立を図る。また、将来宮城の医師や教師となる志を持つ生徒を対象として、講演会や特別講座等を実施し、学力や学習意欲の向上を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を志す高校生特別講座等の実施 ・教師を志す高校生による大学研究室訪問の実施 ・基礎学力の定着に向けた指導法の研究 				27,613	高校教育課
	合計					668,461	

基本方向 4

幼児教育の充実

- ① 幼児期における「学ぶ土台づくり」の推進【重点的取組 6】
- ② 幼児教育の充実のための環境づくり
- ③ 幼児教育の推進に向けた体制づくり

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ☆ ◎	「学ぶ土台づくり」普及啓発事業	<p>幼児教育センターを中心として、「学ぶ土台づくり」の必要性・重要性を普及啓発する取組を行うとともに、幼児教育の内容面の質の向上を図るため、公私・施設類型の区別なく、研修・支援とその基盤となる研究の取組を行う。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保幼小合同研修会の実施（広域型・小単位型） ・幼児教育アドバイザーの派遣（施設要請型・定期巡回型） ・幼稚園教育課程宮城県研究協議会の開催 				2,403	義務教育課
02 ◎	幼稚園等新規採用教員研修事業【教職員CUP事業】（再掲）	<p>公立の幼稚園等の新規採用教諭等を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園等の新規採用教諭等に対する初任者研修の実施 				8,066	教職員課
03 ☆ ◎	みやぎらしい家庭教育支援事業（再掲）	<p>家庭教育に関する相談対応、支援ボランティアの育成及び家庭教育支援チームの普及・定着を図ることにより、家庭教育の充実と振興を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサポーター、子育てサポーターリーダー養成講座等の実施 ・宮城県家庭教育支援チーム派遣の実施 ・各自然の家での幼児を対象とした自然体験活動の実施と親の「学び」と「育ち」の機会の提供 ・中・高生対象の親になるための学びの機会の提供 				5,015	生涯学習課
04 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総合事業（再掲）	<p>家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進 				65,651	生涯学習課
	合計					81,135	

基本方向5

多様なニーズに対応したきめ細かな教育の推進

- ① 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進【重点的取組7】
- ② 多様な個性が活かされる教育の推進

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ◎	特別支援学校校舎改築事業	特別支援学校の狭隘化に対応するため、古川支援学校、利府支援学校、名取支援学校における仮設校舎のリースを行うとともに、小牛田高等学園の仮設校舎の整備を行う。また、既存分校の維持修繕等を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・小牛田高等学園仮設校舎設置及び設置に伴う教材等整備	→			80,544	特別支援教育課
02 ◎	仙台南部地区特別支援学校整備事業	仙台圏域における知的障害特別支援学校の狭隘化の解消と、増加が見込まれる中学校特別支援学級卒業者の後期中等教育段階における学びの場を確保するため、仙台市秋保地区に特別支援学校を新築する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・（仮称）仙台南部地区特別支援学校新築工事	→			3,967,071	特別支援教育課 施設整備課
03 ◎	医療的ケア推進事業	経管栄養等の医療的ケアを必要とする児童生徒のため、特別支援学校に看護師を配置するとともに、巡回指導医及び巡回看護師の指導助言を受けながら、より安全な医療的ケアを実施する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・看護師による医療的ケアの実施 ・巡回指導医による指導支援	→			244,070	特別支援教育課
04 ☆ ◎	共に学ぶ教育推進モデル事業	幼稚園、小学校、中学校、高等学校、教育委員会等での連携体制に関する実践等の事例を蓄積し、障害のある児童生徒と障害のない児童生徒が共に学ぶことで得られる教育的効果を明らかにする。また、取組について広く理解啓発を図るため、「共に学ぶ教育推進フォーラム」を開催する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・モデル事業テーマ「ユニバーサルデザインの考え方を取り入れた教育活動」 ・モデル事業テーマに沿った実践事例の蓄積（モデル地域における小学校、中学校、高等学校での教育活動の展開及び連携体制の構築 実践校7校） ・関係者連絡会の開催	→			2,788	特別支援教育課
05 [復サ]	特別支援学校外部専門家活用事業	全ての特別支援学校にスクールカウンセラーを派遣し、児童生徒へのカウンセリングや教員の指導に対するアドバイスを行うことを通じて、東日本大震災後の児童生徒に対するよりきめ細かな教育環境を確立する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・スクールカウンセラーの派遣 ・連絡会の開催（年1回）	→			4,327	特別支援教育課
06 ◎	特別支援教育総合推進事業	関係機関からなる連携協議会を設置し、連携・協力体制の構築を推進するとともに、早期からの教育相談・支援体制を構築するための取組を行う。また、特別支援教育コーディネーターの活動を支援することで、地域における特別支援教育を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・宮城県特別支援連携協議会の開催 ・特別支援学校のセンター的機能の強化による相談対応 ・個別の教育支援計画作成普及事業 ・特別支援教育専門性向上推進事業（研修会等の実施） ・専門家（作業療法士、理学療法士等）の派遣	→			8,012	特別支援教育課
07 ☆ ◎	地域と連携した特別支援学校魅力化事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 （再掲） 新規	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施	→			2,500	特別支援教育課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
08 ☆ ◎	個別最適な学び に関するモデル 事業 (再掲)	<p>子供たちの多様化やSociety5.0の時代の到来を踏まえ、児童生徒一人一人の能力や適性に応じた「個別最適な学び」と社会とつながる「協働的な学び」の一体的な充実に向け、ICTを効果的に活用した指導の在り方を探るためのモデル校を設置し、大学等と連携を図りながら実践的な研究に取り組み、その成果の普及を図る。</p> <p><令和4年度の主な取組></p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践モデル校の指定、大学との連携協定の締結 ・研究テーマの設定、研究計画の策定 ・授業参観等の視察の受入れ 				4,267	義務教育課
	合計					4,313,579	

基本方向6

郷土を愛する心と社会に貢献する力の育成

- ① 伝統・文化の尊重と郷土を愛する心の育成
- ② 文化財の保護と活用
- ③ 宮城の将来を担う人づくり【重点的取組8】

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ☆ ◎	志教育支援事業 (再掲)	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・推進地区の指定及び推進会議の開催 ・「みやぎの先人集『未来への架け橋』」指導資料の活用促進 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・教職員の人権教育指導者研修会の開催				4,090	義務教育課
02 ◎	高等学校「志教育」推進事業 (再掲)	高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 みやぎ高校生マナーアップ運動の実施(春・秋) みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催				2,071	高校教育課
03 ◎	多賀城創建 1300年記念 重点整備事業 (再掲)	多賀城創建1300年(令和6年)に向けて特別史跡多賀城跡附寺跡の保存と活用を図るため、遺跡の環境整備を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・城前官衙エリアの遺構表示工等				115,720	文化財課
04 ☆ ◎	文化財を活用した地域活性化事業 (再掲) 新規	仙台東部沿岸地域に所在する文化財等を地域の文化振興・観光資源と位置付け、関係市町等と連携・協力して活用し、地域活性化に資する機運醸成・人材育成等の事業を一体的に実施する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・特別史跡多賀城跡の史跡マップ作成のための三次元地形測量 ・多賀城歴史講座や古代衣装を活用した地域学習プログラムの実施				10,000	文化財課
05 ☆ ◎	みやぎグローバル人材育成事業 (再掲)	国際的視野に立って協働的に行動しながら未来を創造し、グローバルに活躍することができる人材の育成を目指し、県立高校において国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・ワークショップへの参加 ・教員派遣研修の実施 ・国際バカロレアの調査研究				123,845	高校教育課 教職員課
06 ◎	図書館貴重資料 保存修復事業	県図書館が所蔵している古絵図などの貴重資料を修復し、後世に伝える。また、複製資料(レプリカ)を作成し、学校教育や生涯学習の場での活用を図り、郷土の歴史・文化への理解促進に役立てる。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・貴重資料(古絵図)の修復作業の実施 ・学校や市町村図書館等への複製資料の貸出				14,886	生涯学習課
07 ◎	多賀城創建 1300年記念 重点整備事業	多賀城創建1300年(令和6年)に向けて特別史跡多賀城跡附寺跡の保存と活用を図るため、遺跡の環境整備を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・城前官衙エリアの遺構表示工等				115,720	文化財課
08 ☆ ◎	文化財を活用した地域活性化事業 新規	仙台東部沿岸地域に所在する文化財等を地域の文化振興・観光資源と位置付け、関係市町等と連携・協力して活用し、地域活性化に資する機運醸成・人材育成等の事業を一体的に実施する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・特別史跡多賀城跡の史跡マップ作成のための三次元地形測量 ・多賀城歴史講座や古代衣装を活用した地域学習プログラムの実施				10,000	文化財課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
09 ☆ ◎	志教育支援事業 (再掲)	東日本大震災の経験を踏まえ、児童生徒が社会において果たすべき自己の役割を考え、自ら生き方を主体的に追求するよう促し、社会人・職業人として生涯にわたって自立する上で必要な能力や態度を育てる。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・推進地区の指定及び推進会議の開催 ・「みやぎの先人集『未来への架け橋』」指導資料の活用促進 ・道徳教育推進協議会の開催及び指導者養成研修への派遣 ・豊かな心を育む研究指定校での公開研究会等の開催 ・豊かな心を育む小・中学生ハートフルミーティングの開催 ・教職員の人権教育指導者研修会の開催				4,090	義務教育課
10 ◎	高等学校「志教育」推進事業 (再掲)	高校生が自ら社会で果たすべき役割を主体的に考えながら、より良い生き方を目指し、その実現に向かって意欲的に物事に取り組む姿勢を育む教育を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「志教育」研究指定校による取組への支援 ・みやぎ高校生フォーラムの開催 ・みやぎ高校生マナーアップ運動の推進 みやぎ高校生マナーアップ運動の実施(春・秋) みやぎ高校生マナーアップフォーラムの開催				2,071	高校教育課
11 ◎	進路達成支援事業 (再掲)	高校生に対して自らが社会でどのような役割を果たすべきかを考えさせ、志を持って高校生活を送ることができるよう支援する。模擬面接等により内定率の持続や定着率の向上を目指す。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・進路達成セミナーの開催 ・「しごと応援カード」の作成と配布 ・企業説明会、就職面接会の実施				2,929	高校教育課
12 ◎	みやぎクラフトマン21事業	専門高校生の技術力向上とものづくり産業に対する理解を深め、地域産業を支える人材の確保と育成につなげるため、現場実習や企業等の熟練技能者による実践的な授業等を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・実践的授業支援 ・資格取得支援 ・ものづくりコンテスト充実支援				4,880	高校教育課
13 ◎	「地学地就」産業人材育成事業	富県宮城の将来を支える「ものづくり人材の育成」と「県内企業への就職」を支援するため、経済商工観光部等と連携・協働し、生徒と企業とのマッチングを図り、職場定着の促進を図る。また、県内企業からの採用相談等に対して、人手不足の解消を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「地学地就」コーディネーターの配置				37,864	高校教育課
14 ☆ ◎	みやぎグローバル人材育成事業	国際的視野に立って協働的に行動しながら未来を創造し、グローバルに活躍することができる人材の育成を目指し、県立高校において国際バカロレア・ディプロマプログラムの実施を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・ワークショップへの参加 ・教員派遣研修の実施 ・国際バカロレアの調査研究				123,845	高校教育課 教職員課
	合計					572,011	

基本方向 7

命を守る力と共に支え合う心の育成

- ① 系統的な防災教育の推進【重点的取組 9】
- ② 地域と連携した防災・安全体制の確立

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ☆ ◎	被災地訪問型研修事業（総合教育センター）	被災地を実際に訪問することにより、震災当時の状況を深く理解し、児童生徒の生命を最優先とする教職員としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関する最低限身に付けておくべき知識・技能を習得する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・被災地訪問、講義及びグループワーク等（新任校長及び全ての新規採用者対象）	→			2,571	教職員課
[復サ]	震災資料収集・公開事業（再掲）	東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内に「東日本大震災文庫」を設置し、県民に公開する。また、震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開する「東日本大震災アーカイブ宮城」を運用し、今後の防災・減災対策や防災教育等への活用支援を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・震災関連資料の収集・整理・保存 ・「東日本大震災アーカイブ宮城」の保守・運用支援、利活用促進	→			17,741	生涯学習課
03 ☆ ◎	地域連携型学校防災体制等構築推進事業 拡充	様々な災害から児童生徒等の命を守るため、地域と連携した学校防災の取組を支援する相談窓口の設置や学校防災アドバイザーの紹介・派遣を行うとともに、実践研究協力校において、地域や関係機関と連携したマニュアルの見直しや避難訓練等の実践研究を行い、成果をフォーラム等で広く普及することで、地域の災害特性を踏まえた地域ぐるみの学校防災を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・相談窓口の設置、学校防災アドバイザー（大学等専門家）の紹介・派遣による助言（年間50回程度） ・地域ぐるみの学校防災体制等構築に係る実践研究（実践研究協力校4校、2年間継続した実践研究） ・みやぎ安全教育総合推進ネットワーク会議の開催 ・未来へつなぐ学校と地域の安全フォーラムの開催	→			10,000	保健体育安全課
04 ◎	防災主任・安全担当主幹教諭配置事業	大震災の記憶を薄れることなく後世に伝える仕組みを作るとともに、自然災害に対する危機意識を高め、学校教育における防災教育等の充実を図るため、全公立学校に防災主任を配置する。また、震災にとどまらず、総合的な学校安全、いじめ対策・不登校支援推進に係る地域の学校の中心的な役割を担う安全担当主幹教諭を拠点校に配置する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・防災主任の全校配置 ・安全担当主幹教諭の拠点校配置 ・いじめ対策・不登校支援・心のケアに係る地域連携の強化 ・学校・家庭・地域社会が一体となった防災教育の推進	→			643,313	教職員課
05 ◎	防災ジュニアリーダー養成事業	将来の宮城を支え、自主防災組織等における次世代のリーダーなど将来の地域防災の活動の担い手となる高校生を中心に「みやぎ防災ジュニアリーダー」として養成し、県内全体の地域防災力の一層の向上を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・みやぎ防災ジュニアリーダー養成研修会の開催（県内2会場で開催、県内高校生100名想定、宮城県防災指導員の認定につなげる内容で開催、東北大学災害科学国際研究所と共催により実施）	→			1,803	保健体育安全課
	合計					675,428	

基本方向 8

安心して楽しく学べる教育環境づくり

- ① 教員の資質能力の総合的な向上【重点的取組 10】
- ② 教職員を支える環境づくりの推進
- ③ 学びのセーフティネットの構築に向けた学習環境の整備充実【重点的取組 11】
- ④ 開かれた魅力ある学校づくりの推進【重点的取組 12】
- ⑤ 学校施設・設備の整備充実
- ⑥ 私学教育の振興

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
◎	教職員派遣研修事業 【教職員CUP事業】	独立行政法人教職員支援機構が主催する中央研修や教職大学院などに現職の教職員を派遣し、管理職及び中核的・指導的役割を担うリーダーを養成するほか、人事管理上必要な法定の資格を有する教員を養成する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・教職員支援機構主催の中央研修等への教職員派遣 ・宮城教育大学教職大学院・東北大学大学院への教員派遣 ・学校図書館司書教諭講習への教員派遣 ・福祉系高等学校の介護福祉士等の資格を有する教員の養成				7,724	教職員課
◎	教育職員免許法認定講習事務費 【教職員CUP事業】	教員の資質の保持と向上を図るため、免許法認定講習を開設して現職教員等の特別支援学校教諭免許状の取得や二種免許状を有する者の一種免許状の取得等を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・免許法認定講習開設（10講座）				1,444	教職員課
◎	指導力向上長期特別研修事業 【教職員CUP事業】	教育指導力等に課題があり、児童・生徒に適切な指導ができず、学校現場を離れての研修が必要と認められる教員（指導力不足等教員）に学校以外の教育機関等における多面的な研修を行うことにより、教育への主体的意欲と指導力を回復・伸長させて再び学校現場で活躍できるようにする。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・指導力不足等教員に対する資質能力の回復・伸長のための指導改善研修の実施 ・指導に不安や悩みを抱える教員に対するステップアップ研修の実施 ・指導力不足等教員の認定等に当たる審査委員会の実施				4,553	教職員課
◎	初任者研修事業 【教職員CUP事業】	小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の新規採用教諭を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。また、新規採用教諭の研修期間への対応として、関係学校に対し非常勤講師の配置等を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・新規採用教諭に対する初任者研修の実施				349,345	教職員課
◎	中堅教諭等資質向上研修事業 【教職員CUP事業】	幼稚園等の8年経過教諭等及び小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校の10年経過教諭等を対象として1年間の研修を実施し、学級担任・教科担任等としての経験をもとに、授業力と生徒指導力に関する専門性を発揮しながら、特に中堅教諭等として学校を支える力の伸長を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・教職経験10年経過教諭等に対する授業力・生徒指導力・学校を支える力の向上のための研修の実施				5,182	教職員課
◎	幼稚園等新規採用教員研修事業 【教職員CUP事業】	公立の幼稚園等の新規採用教諭等を対象に実践的指導力と使命感を養うこと等を目的として研修を実施する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・幼稚園等の新規採用教諭等に対する初任者研修の実施				8,066	教職員課
◎	産業人材養成教員研修事業 【教職員CUP事業】	工業科等の専門教科担当教員を一定期間企業等に派遣するなどして最新技術を習得させることにより、専門高校等における産業人材育成の活性化を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・専門教科担当教員の企業等への派遣研修等の実施				1,980	教職員課
[復サ]	心のケア研修事業 (総合教育センター) 【教職員CUP事業】	「被災した児童生徒の心のケア」や「学校不適応への対応」等をテーマとする学校単位による研修会を実施し、児童生徒の心のケアに関する教職員の資質能力の向上を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「学校不適応への対応」をテーマとする学校単位研修会の開催 ・効率的・効果的なケース会議をするためのホワイトボードケース会議の研修会の開催				361	教職員課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
◎	09 研修研究事業 (総合教育センター) 【教職員CUP事業】	教育関係職員の専門的資質能力の向上を図るため、教職員研修の一環として基本及び専門研修等を実施する。また、全国的な教育研究の動向を踏まえ、常に新しい課題や教育観に基づく先導的な教育研究に当たるとともに、学校の教育活動に直接役立つ実践的、実証的な研究に取り組む。あわせて、教職員の資質向上と指導力充実を図るため、視聴覚機器など各種研修事業推進のための教材教具の借上げを行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「みやぎの教員に求められる資質能力」を踏まえ、教職経験に応じた基本研修・専門研修・総合研修・校内研修支援等の様々な研修会の開催 ・共同研究（5つの研究テーマによる研究）	→			15,529	教職員課
◎	10 教育相談事業 (総合教育センター) 【教職員CUP事業】	教職員の資質向上と指導力充実を図るため、特別支援教育に関する資料収集及び検査器具の整備を行う。	→			—	教職員課
☆ ◎	11 被災地訪問型研修事業（総合教育センター） (再掲)	被災地を実際に訪問することにより、震災当時の状況を深く理解し、児童生徒の生命を最優先とする教職員としての意識を伝承及び醸成するとともに、防災に関する最低限身に付けておくべき知識・技能を習得する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・被災地訪問、講義及びグループワーク等（新任校長及び教育庁の全ての新規採用者対象）	→			2,571	教職員課
◎	12 ICTを活用した研究・研修・支援事業（総合教育センター）	講義形式の研修をeラーニングやサテライトw e b研修に転換し、受講生が研修場所や時間を自由に設定できる環境を整備することにより、教職員の資質能力の向上を図るとともに、児童生徒と向き合う時間を確保する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・eラーニングに係るコンテンツの作成 ・サテライトw e b研修に係る受講環境の整備 ・受講管理システムを利用した申込や履歴の管理	→			9,678	教職員課
◎	13 研修研究事業 (総合教育センター) 【教職員CUP事業】 (再掲)	教育関係職員の専門的資質能力の向上を図るため、教職員研修の一環として基本及び専門研修等を実施する。また、全国的な教育研究の動向を踏まえ、常に新しい課題や教育観に基づく先導的な教育研究に当たるとともに、学校の教育活動に直接役立つ実践的、実証的な研究に取り組む。あわせて、教職員の資質向上と指導力充実を図るため、視聴覚機器など各種研修事業推進のための教材教具の借上げを行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・「みやぎの教員に求められる資質能力」を踏まえ、教職経験に応じた基本研修・専門研修・総合研修・校内研修支援等の様々な研修会の開催 ・共同研究（5つの研究テーマによる研究）	→			15,529	教職員課
[復サ]	14 学校復興支援対策教職員加配事業 (再掲)	被災した児童生徒に対して、手厚い指導・支援を図るため、被災地の学校を中心に、人的体制を強化し、きめ細かな指導や児童生徒の心のケアを行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・国から配当された復興加配の定数を活用し、心のケア等を行う教員を配置	→			771,262	教職員課 義務教育課 高校教育課
◎	15 スクールサポートスタッフ配置事業	教員の業務支援を目的とし、教員の負担軽減を図ることで、教員がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・スクールサポートスタッフを20人（小10人、中10人）を配置	→			20,075	教職員課
◎	16 学校業務改善支援事業 新規	教職員の多忙化の主要因を精査・検証するために客観的なデータを収集することが不可欠であることから、適切に収集されたデータを基に校務の精選等を図り、教職員の働き方改革を推進する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・校務運営支援システムの一部改修	→			1,400	教職員課
◎	17 部活動指導員配置促進事業	中学校及び高等学校における部活動指導体制の充実を推進し、部活動を担当する教員の支援を行うとともに、部活動の質的な向上を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・部活動指導員の配置	→			38,542	保健体育安全課 義務教育課
☆ ◎	18 ICTを活用した研究・研修・支援事業（総合教育センター） (再掲)	講義形式の研修をeラーニングやサテライトw e b研修に転換し、受講生の研修場所や時間を自由に設定できる環境を整備することにより、教職員の資質能力の向上を図るとともに、児童生徒と向き合う時間を確保する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・eラーニングに係るコンテンツの作成 ・サテライトw e b研修に係る受講環境の整備 ・受講管理システムを利用した申込や履歴の管理	→			9,678	教職員課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
[復サ]	19 東日本大震災みやぎ子ども育英基金事業（奨学金・未就学児支援金）	国内外からの寄附金を積み立てた東日本大震災みやぎ子ども育英基金を活用し、東日本大震災に起因する理由によって保護者が死亡し、又は行方不明となっている児童生徒等について、安定した学びの機会と希望する進路選択が実現できるよう、その修学等を支援し、有為な人材の育成に資するため奨学金等を給付する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・対象者への月額金及び一時金の給付				352,260	教育庁総務課
[復サ]	20 被災児童生徒就学支援事業（公立小中学校）	震災により、経済的な理由から就学等が困難となった世帯の公立小・中学校の児童生徒を対象に、学用品費、通学費（スクールバス利用費を含む。）、修学旅行費、給食費等の就学支援を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・公立小・中学校等被災児童生徒に対する就学援助事業の実施				274,233	義務教育課
[復サ]	21 高等学校等育英奨学資金貸付事業	経済的理由から修学が困難となった生徒に対して奨学資金を貸し付けるとともに、震災を起因とした経済的理由により修学が困難となった生徒を対象に被災生徒奨学資金の貸し付けを行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・従来からの育英奨学資金貸付 ・被災生徒奨学資金貸付				1,250	高校教育課
☆ ◎	22 小中学校コミュニティ・スクール推進事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 （再掲）	「コミュニティ・スクール推進協議会」を主催し、各市町村の域内全ての学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を核とした学校・家庭・地域の連携・協働体制の導入・拡充を検討し、持続可能な推進体制の構築を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・コミュニティ・スクール推進協議会の開催				454	義務教育課
☆ ◎	23 地域と連携した高等学校魅力化事業【コミュニティ・スクール推進事業】 （再掲）	学校運営協議会などによる地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を活用した実践的で魅力ある教育活動、及びその取組を学校評価により改善する体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程の実現を図り、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・学校運営協議会パイロット校事業 ・学校評価を活用したカリキュラムマネジメント支援 ・地域とともにつくる魅力ある県立高等学校支援事業				12,660	高校教育課
☆ ◎	24 地域と連携した特別支援学校魅力化事業 【コミュニティ・スクール推進事業】 （再掲） 新規	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施				2,500	特別支援教育課
☆ ◎ [復サ]	25 協働教育推進総合事業 （再掲）	家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進				65,651	生涯学習課
◎	26 小規模防災機能強化補助事業	みやぎ発展税を活用し、市町村が行う小中学校施設の防災対策事業のうち、国庫補助の対象とならない400万円未満の事業について支援し、安心安全な学校施設の整備を推進するとともに、耐震化の加速化を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・市町村が行う防災機能強化事業「建築非構造部材の耐震対策工事」への支援				17,000	施設整備課
	合計					1,988,927	

基本方向 9

家庭・地域・学校が連携・協働して子供を育てる環境づくり

- ① 家庭の教育力を支える環境づくり【重点的取組 1 3】
- ② 地域と学校の新たな連携・協働体制の推進【重点的取組 1 4】
- ③ 子供たちが安全で安心できる環境づくり

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
01 ☆ ◎	みやざらしい家庭教育支援事業	家庭教育に関する相談対応、支援ボランティアの育成及び家庭教育支援チームの普及・定着を図ることにより、家庭教育の充実と振興を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・子育てサポーター、子育てサポーターリーダー養成講座等の実施 ・宮城県家庭教育支援チーム派遣の実施 ・各自然の家での幼児を対象とした自然体験活動の実施と親の「学び」と「育ち」の機会の提供 ・中・高生対象の親になるための学びの機会の提供				5,015	生涯学習課
02 ☆ ◎	「学ぶ土台づくり」普及啓発事業（再掲）	幼児教育センターを中心として、「学ぶ土台づくり」の必要性・重要性を普及啓発する取組を行うとともに、幼児教育の内容面の質の向上を図るため、公私・施設類型の区別なく、研修・支援とその基盤となる研究の取組を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・保幼小合同研修会の実施（広域型・小単位型） ・幼児教育アドバイザーの派遣（施設要請型・定期巡回型） ・幼稚園教育課程宮城県研究協議会の開催				2,403	義務教育課
03 ◎	基本的な生活習慣定着促進事業	家庭・学校・地域・企業等と連携・協力し、宮城の将来を担う子供達に「しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸びル（ルルブル）」の普及と定着促進を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ 【ルルブル普及啓発事業】 ・基本的な生活習慣の重要性を伝えるリーフレットの制作・配布 ・企業等と連携した普及啓発事業 ・みやぎっ子ルルブル推進会議の開催 ・ルルブル通信の発行・みやぎ出前講座の実施等 ・ルルブルのウェブサイト更新 ・SNSを活用した情報発信 【ルルブル定着促進事業】 ・ルルブル・エコチャレンジ事業 ・朝食摂取習慣化事業				7,048	教育企画室
04 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総合事業	家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進				65,651	生涯学習課
05 ☆ ◎	小中学校コミュニティ・スクール推進事業 【コミュニティ・スクール推進事業】	「コミュニティ・スクール推進協議会」を主催し、各市町村の域内全ての学校において、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を核とした学校・家庭・地域の連携・協働体制の導入・拡充を検討し、持続可能な推進体制の構築を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・コミュニティ・スクール推進協議会の開催				454	義務教育課
06 ☆ ◎	地域と連携した高等学校魅力化事業 【コミュニティ・スクール推進事業】	学校運営協議会などによる地域と学校の連携により、両者が協働して、これからの地域を担うために必要な資質・能力の育成を図るため、地域の教育資源を活用した実践的で魅力ある教育活動、及びその取組を学校評価により改善する体制づくりを支援することで、社会に開かれた教育課程の実現を図り、地域の期待に応える魅力ある学校づくりに資する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・学校運営協議会パイロット校事業 ・学校評価を活用したカリキュラムマネジメント支援 ・地域とともに作る魅力ある県立高等学校支援事業				12,660	高校教育課

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
07 ☆ ◎	地域と連携した 特別支援学校魅 力化事業 【コミュニティ・ スクール推進事 業】 新規	学校と地域が学校目標を共有し、目標実現のため学校運営に地域の参画を促す取組を研究するとともに、特別支援学校の教育活動の内容とその魅力を効果的に発信し、魅力ある学校づくりに資する取組を支援する。 <令和4年度の主な取組> ・学校運営協議会を核とする特別支援教育学校魅力化の推進と研究の実施 ・学校と地域の連携・協働に向けた研修等の実施				2,500	特別支援教育課
08 ☆ ◎ [復サ]	協働教育推進総 合事業 (再掲)	家庭・地域・学校が協働して子供を育てる環境づくりを推進して、家庭・地域の教育力の向上や活性化を図り、地域全体で子供を育てる体制の整備を図る。 <令和4年度の主な取組> ・協働教育コーディネーター研修会等の実施 ・協働教育推進功績表彰等の実施 ・「みやぎ教育応援団」マッチング会議等の実施 ・地域学校協働本部の設置・地域学校協働活動の推進				65,651	生涯学習課
09 ☆ ◎ [復サ]	いじめ対策・不 登校支援及び中 途退学防止事業 (再掲)	いじめ、不登校及び中途退学に対応するため、生徒指導や自己有用感の涵養を図る学習活動の補助を行う学校生活適応支援員、学校等への生徒指導の支援を行う心のサポートアドバイザーを配置するとともに、関係機関や外部の専門家等との連携・協力のネットワークを強化し、組織的・体系的な生徒指導を進め、いじめ、不登校及び中途退学の未然防止を図るとともに、早期発見・早期解決を図る。 <令和4年度の主な取組> ・教育活動充実支援事業 ・学校生活適応支援員の配置(希望する県立高校) ・心のサポートアドバイザーの配置(県教育委員会) ・精神保健研修会の開催支援 ・ネットパトロールの実施 ・高等学校生徒指導連絡会議等の開催				94,985	高校教育課
	合計					256,367	

- ① 誰もがいつでも学ぶことができる環境の充実【重点的取組 1 5】
- ② 多様な学びによる地域づくり
- ③ 文化芸術活動の推進
- ④ スポーツの価値を活用した生涯スポーツ社会の構築【重点的取組 1 6】
- ⑤ 競技力向上に向けたスポーツ活動の推進

区分	事業名	事業概要	R3	R4	R5	R4当初 予算額 (千円)	担当課室
◎	生涯学習プラットフォーム構築事業	地域住民、行政、大学等の教育機関、NPO、民間企業等生涯学習や社会教育に携わる人が情報を共有したり、行動連携を具現化するなど緩やかなネットワークを結ぶ。それぞれの専門性や人的・物的資源を効果的に活用することにより、地域の学びを支えるプラットフォームを形成する。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・生涯学習ポータルサイトの利用促進	→			1,632	生涯学習課
◎	図書館貴重資料保存修復事業（再掲）	県図書館が所蔵している古絵図などの貴重資料を修復し、後世に伝える。また、複製資料（レプリカ）を作成し、学校教育や生涯学習の場での活用を図り、郷土の歴史・文化への理解促進に役立てる。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・貴重資料（古絵図）の修復作業の実施 ・学校や市町村図書館等への複製資料の貸出	→			14,886	生涯学習課
◎	人と自然の交流事業（再掲）	自然環境に恵まれた県立自然の家の社会教育施設を活用した自然体験プログラムを実施し、環境保全等に対する理解の動機付けを図るとともに、一人一人が置かれている日々の生活の中で自ら意識を改革し、より良く行動する人材の育成を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・県立自然の家での自然体験プログラム（学習体験）の実施	→			2,444	生涯学習課
[復サ]	震災資料収集・公開事業	東日本大震災を後世に伝えるため、震災に関する図書・雑誌などを収集するとともに、県図書館内に「東日本大震災文庫」を設置し、県民に公開する。また、震災記録や被災した地域の地域資料をデジタル化してWeb上で公開する「東日本大震災アーカイブ宮城」を運用し、今後の防災・減災対策や防災教育等への活用支援を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・震災関連資料の収集・整理・保存 ・「東日本大震災アーカイブ宮城」の保守・運用支援、利活用促進	→			17,741	生涯学習課
◎	みやぎの文化育成支援事業【みやぎの文化芸術活動支援事業】	青少年に対し、文化芸術を身近に鑑賞する機会を提供するため、宮城県芸術祭参加の絵画・書道作品の巡回展示、地方音楽会の開催、高等学校文化活動に対する助成、巡回小劇場（音楽公演・演劇公演）の開催等を行う。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・県芸術祭・地方音楽会の開催 ・巡回小劇場の開催（音楽公演・演劇公演）	→			6,481	生涯学習課
◎	美術館教育普及事業【みやぎの文化芸術活動支援事業】	県民の創作及び鑑賞活動への参加を促し、美術体験、創作体験を通じて美術の普及を図る。また、美術を柱として音楽・舞踏・映像等表現関連領域とも連携し、講座・ワークショップ・公演会などを開催して、親しみある美術館として一層の定着を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・ワークショップ・美術講座・公演会等の実施 ・事業の広報活動・活動記録の作成・公開	→			4,570	生涯学習課
◎	美術館リニューアル整備事業	宮城県美術館の施設・設備の老朽化、新たな社会的要請や環境変化への対応のため、ハード・ソフトの両面でリニューアルを進める。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・美術館リニューアル改修設計 ・美術館の所蔵作品のデータベース化 ・既存の教育普及事業のアーカイブ化と映像コンテンツ制作	→			53,586	生涯学習課
☆ ◎	体力・地域スポーツ力向上推進事業（再掲）	体力・地域スポーツ力向上に係る、小学校、中学校、地域における課題を解決するために、大学や民間企業と連携した優れた事業提案をモデル事業として実践し、児童生徒の体力及び地域スポーツ力の向上を図る。 ＜令和4年度の主な取組＞ ・市町村と大学や民間企業が連携して行う子供の体力・運動能力向上策 ・ICT機器を活用した部活動指導支援 等	→			5,796	保健体育安全課
	合計					107,136	